

第六回「あおもり I T S 推進研究会」の概要

- 1 . 開催日時 2005年3月23日(水) 15時～17時
- 2 . 開催場所 青森県青森市堤町2-1-7(タップサービスビル1階)
グリーンドラム
- 3 . 出席者数 11名(内事務局5名)
- 4 . 開催概要
 - (1) 前回(第五回研究会)議事内容について
第五回研究会で取り上げられた議案の内容について、事務局より報告がなされた。
 - (2) 「あおもり I T S 推進研究会」今年度のとりまとめについて
第一回から第四回までの研究会概要をもとに、事務局から説明がなされた。
今年度のとりまとめを行い、佐々木市長に報告を行うことになった。
 - (3) 「あおもり I T S 推進研究会」の今後の方針について
今後の方針について、事務局から提案され、各会員から意見を頂いた。
観光 I T S を進めていくうえで、観光関係の方にも研究会に参加して頂く。
I T S に関連するユビキタスへの拡大。
八戸地区・弘前地区での I T S のあり方及び青森県内に対する働き掛け。
高速道路関係業者に対する I T S の働き掛け。

(4) その他について

「青森空港エアビジョン」システムの概要について

「青森空港エアビジョン」システムの目的、設置・運営主体、大型ディスプレイの仕様、コンテンツ等について、青森県企画振興部新幹線・交通政策課課長石崎会員より説明がなされた。

「冬期交通渋滞把握調査」について

事務局より「冬期交通渋滞把握調査」について、調査方法、検証、調査体制の説明がなされた。

質疑応答として

(Q1) 調査方法として、除雪車にGPS車載器かGPS携帯電話を取り付け、除雪車の現在位置や除雪状況を確認するということが、GPS車載器とGPS携帯電話とでは、性能的にどれ位の差があるか？

(A1) 大きな差はないが、使い道によってGPS携帯電話では、無理が生じる場合があると思われる。

(Q2) 北海道北見市で、行政が除雪の進行状況を市民に提供しているが、青森市ではどこまで市民に情報を提供することができるか？

(A2) まだ企画の段階だが、平成17年度は幹線道路300キロの除排雪している除雪車に車載器を搭載して、除排雪の運行管理を目的とする。平成18年度はその中でどの部分を市民に情報提供できるか、検討していく。

各会員からの提案として

- ・国道、県道、市の幹線道路、これをひとつの画面に表示したい。
- ・青森除排雪車運行管理システムを構築した後、民間に維持管理を委託したい。
- ・国でも除雪車にGPSを取り付ける予定なので、市とのタイアップの可能性を探りたい。
- ・除雪に関する苦情を分析し、統計を出して、今後の参考にしたい。

5. 会長は以上をもって本日の研究会を終了した旨を述べ、閉会を宣した。